

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	立葵の教室 児童発達支援事業		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年 11月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日療育のため、午前午後の活動だけではなく、トイレや給食などでも支援ができ、園に近い環境である。	運動会・遠足・卒園式等の行事にも力を入れている。園での行事に自信を持って参加できることを目的とし、また未就園のお子さんにも年中行事を経験していく。	園訪問等を増やし、より園利用に繋げるため、環境や活動を設定していく。
2	連絡帳もあるが、保護者の方に送迎をしてもらっているため、登所時に家での様子を聞き、退所時には事業所でのお子さんの様子を直接お伝えできる。	お子さんの集団での姿を理解していただけるよう、事業所での様子や状況、支援方法、などを詳しく伝え家庭でも実践していただけるようにしている。また、保護者の困りごとや課題の聞き取りもしてる。参観はいつでも受け入れている。	園や地域との連携。就園や、就学後につながるのがある支援。
3	保護者会で勉強会や交流会、参観を定期的に行っており、子育てへの参考や保護者同士のつながり作りにつなげている。	テーマや活動を設定したり、参加しやすい雰囲気や心がけている。イベント(クリスマス会)や給食の参観も行っている。	より多くの方に参加していただけるような内容の企画をしていきたい。また、外部の講師をお呼びしての講座や研修等の検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事に招待するなどの地域の方との交流。	園への移行に向けて、利用者参加の行事(遠足、運動会、卒園式)の充実に力を注いでいるため。	地域の方を招いての活動や行事の企画等も考えていきたい。
2	きょうだい児同士の交流。	カフェや参観等で保護者同士の交流の場を増やし深めている段階である。	長期休み期間の保護者会等で組み込んでいくなど検討していきたい。
3	事故防止や緊急対応マニュアル、感染症マニュアル等の家族等への周知。	職員間での研修や共有はしているが、利用者のご家族へのマニュアルの周知は特にしていなかった。	各委員会からマニュアルに基づいたおたよりを発行するなど検討していきたい。